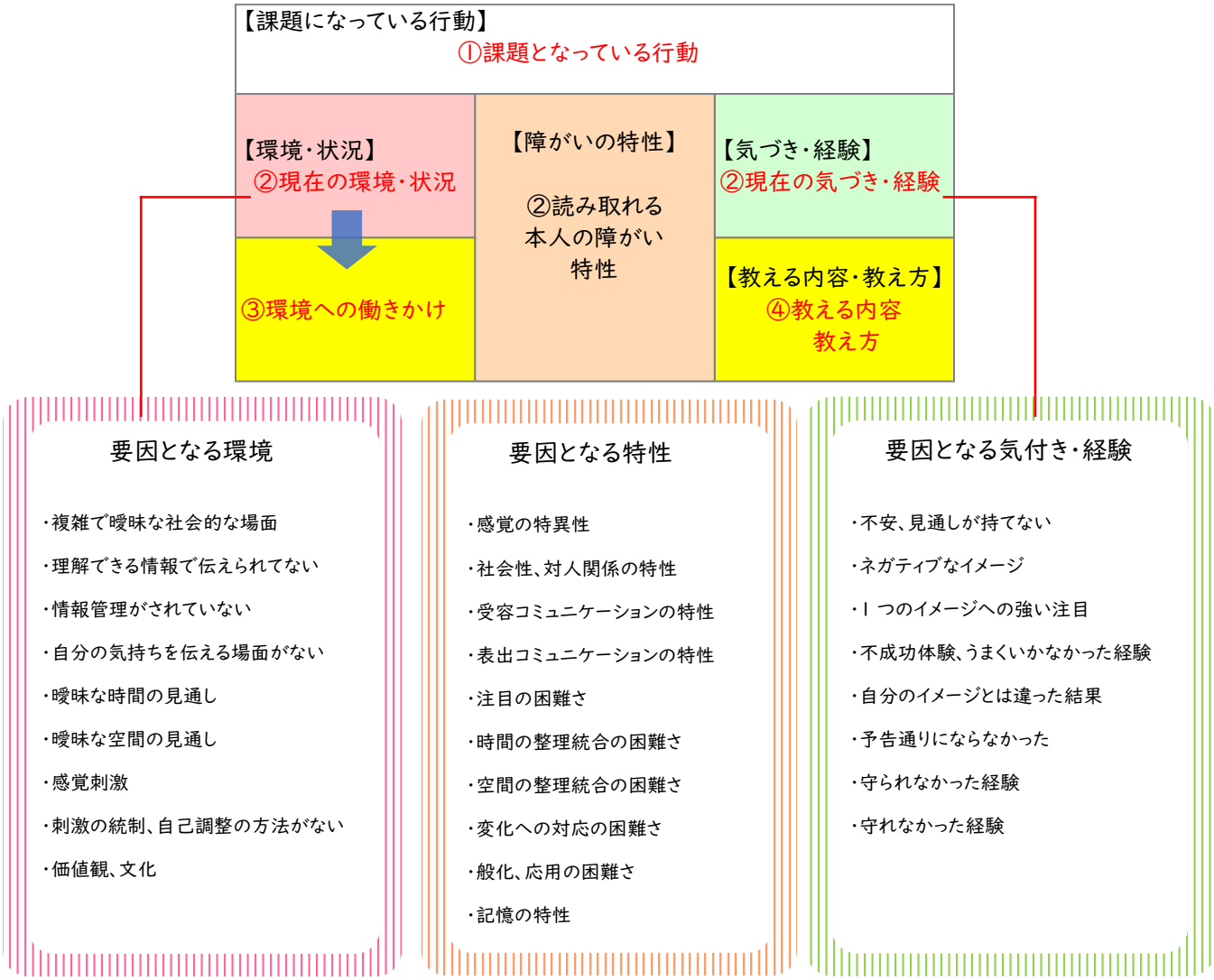
【研修報告】　　令和5年度 発達に関する学習会 ―第2部―

日　時：令和6年２月 27(火)・3 月 5 日(火)

講　師：村岡 伸祥 先生

＜氷山モデルを活用した行動支援について・自立支援、行動支援と個別支援計画＞



※障がい特性は変わらない → 変えようとすると、ネガティブな経験が重なる

環境調整・教える内容、教え方

足し算

明確で具体的な指示
（見て分かる指示）

・注目する部分、活動を明確に伝える
・視覚的に整理して伝える

引き算

刺激の統制
不要な部分を伝える

・関係ないものを無視できるように工夫する
・必要でない部分を不要と伝える

かけ算

指示の提示を習慣化

・いつも同じシステム
・習慣化して教える
・繰り返しを活用する
・事例で深め機会を作る

わり算

細かく分けて教える

・ステップに分けて教える
・うまくいかない部分を抽出して教える
・課題分析を活用する

※氷山モデルシートは「フレームワークを活用した自閉症支援」を参照

“自閉症 フレームワーク”で検索